

金山町立金山中学校 第8号

学校だより

令和4年11月1日発行
発行責任者:金山中学校長

「金中祭」開催 Power of smile ~ヒカリ輝く金中生の夢~

10月30日(日)、金山中学校文化祭「金中祭」が開催されました。約2ヶ月にわたり、文化祭実行委員会を中心に企画を練り、準備を進めてきました。その努力の甲斐があり、創意工夫を凝らした素晴らしい内容の文化祭でした。来賓の方々を招いての全面開催は叶いませんでしたが、当日は多くの保護者の方々にご来校いただき、生徒の学習の成果を存分に披露することができました。オープニング、フィナーレで演奏させていただいた金中太鼓は、本校が統合する前身の横田中学校時代に横中太鼓として演奏されていた演目のため、当時を懐かしむ保護者の方の姿もありました。各学年発表は、生徒自身が考えた台本による演劇仕立てでの発表で、笑いや、特別ゲストの出演を織り交ぜたとても工夫された中身の濃い発表であり、生徒の秘めた能力に大変驚かせられました。

- | | | |
|-------------------|--|--|
| 1 オープニング
(開祭式) | 4 各学年発表
1年「とあるクラスの2時間目」
2年「2年生のドタバタ!!宿泊学習!!」
3年「イツァわんだほいワールド」 | 5 フィナーレ(閉祭式)
6 作品展示鑑賞(国語、技術・家庭、
美術、総合、学級活動、生徒会活動)
7 後夜祭 |
|-------------------|--|--|



職業体験学習 ～働くということとは～

10月4日(火)、1年「地域の職業・産業」、2年「人と接する仕事(福祉)」、3年生「社会と関わる職業」のテーマのもと、金山町内と会津若松市内の事業所・施設において職業体験学習を行いました。働く人とのふれあいから、人と関わることへの喜びを感じ、社会で必要な場に応じた礼儀やマナーを学ぶ機会になりました。

コロナ禍にもかかわらず、本事業の趣旨をご理解いただき、体験学習を引き受けて頂いた関係各所の皆様に、あらためて感謝申し上げます。



インターネット社会における読書のすすめ

毎年、文化の日の前後に読書週間が設定されています。今年もその時期になりました。穏やかな天候のもと、読書の秋を満喫したいものです。そもそも読書週間は、関東大震災で焼失した大量の書籍の復興がきっかけだったそうです。

今日に生きる子どもたちには、本に親しむことを通じて豊かな知識を身に付け、それを活用して生涯にわたって長寿社会を主体的に生きていく素地を形成できることを期待します。

さて、子どもたちの読書量の現状に目を向けると、個人差が大きいと感じます。また、社会全般の大人にあっても同様のことが言えると思います。

読書は、書籍を手にするだけでなく、インターネットを通じた電子書籍でも可能です。ここではあえて、紙の書籍文化の良さについて、図書館の利用に関して2点に整理したいと思います。

1点目は、目指す書籍や情報を実際に自分の手に取って、納得がいくまで確認できることです。インターネット上の情報は、掲載者の意図によって操作されていることがあることを学校では指導しています。情報の出典を常に確認できるのが書籍の強みです。

2点目は、図書館にも図書を検索システムはありますが、実際に開架書架を巡ってみると、目指している情報の周辺に存在する関連情報にも出会うことができます。また、目指していた情報とはまったく異なるジャンルの新しい領域に関心を広げる機会にもなります。

中学生に育みたいことは、視野を広くもつことではないでしょうか。そのことが、将来実現したい夢につながったり、職業観を広げたりするきっかけになることは確かなことです。